

平成23年度第3回事前評価結果一覧表（11月実施分）

番号	課名	評価対象事業名称	事業の概要	2次評価	事業採択結果	概算事業費
1	水産課	ながさき認定漁業者支援事業	<p>・漁船の位置を風や潮流の影響があっても保持できるよう漁船にサイドスラスターを設置するながさき認定漁業者に対し補助する。</p> <p>→サイドスラスター設備 2台 1隻 →サイドスラスター設備 1台 1隻</p>	<p>・ながさき認定漁業者の円滑な操業や漁獲量の増加が期待され、経営の安定化につながると判断する。</p>	計画どおりに事業を実施する	6,300千円
2	水産課	小規模漁協等合併支援事業	<p>・法定解散を回避するため、長崎県と協力して現在の合併研究会を発展的に協議会へ移行し、合併を実現させるため県の支援制度を活用して協議を推進する。</p> <p>→協議会、研修会等費補助 1.0式</p>	<p>・正組員数の減少による法定解散を回避し、漁業権に空白を生じさせないため早急な対策が必要であると判断する。</p>	計画どおりに事業を実施する	667千円
3	農林課	森林再生モデル事業	<p>・事前に林内調査を実施し、荒廃が進んでいる箇所の天然林（本町森林面積の6割占める）の伐倒（断幹）。伐倒した枝、幹で断幹した木を覆い鹿からの防護をしながら、再度芽を出させる更新型の施業とする。林内へより多くの光が入るように伐倒木については、間隔を適当にあけるようにする。伐倒する木については、常緑樹を中心とした木とし、落葉木、特にどんぐりのなる木、つばきについては、伐倒しないで断幹・整理伐を実施する。</p>	<p>・荒廃が進んでいる天然林を再生し、山林の公益的機能の回復・増進させるため必要であると判断する。再生モデル事業として実施するにあたり、追跡調査や検証を行い、環境に及ぼす影響など公表すること。</p>	計画どおりに事業を実施する	750千円